

平成17～19年度執行状況と20年度予算編成概要

平成19年度までは児童生徒数が増加し続けてきましたが、平成20年度は、県立金沢養護学校開校により減少し、配当基準の引き下げと相俟って、本校の配当予算はこれまでにない減額となりました。

こうした中で、子どもたちの充実した学校生活を保障するため、毎日の学習用教材費や生活用品費、施設設備の維持管理費を確保するため、これまで以上に管理的消耗品等の節減努力をします。

また、教育条件向上のための教材教具や管理用備品の整備・更新ができるよう長期的な見通しに立った予算計画・執行をすすめます。

＜平成20年度の状況＞

- 児童生徒数は減少しましたが、本年度は防災備蓄品の更新時期に当たるため、教材・教具・管理用等の消耗品費を昨年並み確保します。
- 備品費は、教育条件の向上に必要な経費ですが、消耗品費や修繕料を確保するため年度当初予算案では圧縮せざるを得ません。
- 年度を通じて適切な予算執行管理をしていく中で、管理用消耗品費等の節減をし、教材備品等の充実や更新などを図っていきます。

＜主要費目別の17～19年度当初予算執行額と20年度予算編成＞

	17年度執行額	18年度執行額	19年度執行額	20年度予算額
消耗品費	8,134,243	6,370,868	6,995,615	6,700,000
備品費	2,938,675	2,662,539	2,160,803	1,240,000
修繕・修理費	1,895,376	2,363,015	1,798,860	1,594,900
その他	486,953	977,957	984,392	1,241,600
執行額合計	13,455,247	12,374,379	11,939,670	10,776,500

※ 洗濯等外部委託費用1,238,400円は除いています。

各年度主要費目別執行額の推移

